

GT セミナー（保育環境研究所ギビングツリー） 2017 年度セミナー総集編

第50号 2018年2月12日発行

ミマモルジュ挨拶

ホテルに宿泊客の様々な相談や
ご要望に応えるコンシェルジュがいる
ように、保育においても様々な
ご要望や悩みがあると思います。

「見守る」+「コンシェルジュ」=
ミマモルジュとして、保育に関する
ご要望にお応えしていけるよう
活動していきます。

株式会社カグヤ 奥山卓矢

GT セミナー2017 総集編

今年度も東京の竹橋で計6回のセミナーを開催致しました。

また、年1回開催しているドイツ環境視察ツアーも15回を迎え、
今回初となる、過去ドイツ環境視察ツアーに参加したメンバーでの
合同同窓会を開催致しました。

ドイツ同窓会に併せまして、ドイツで通訳をお願いしています、
田中泰二様、ベルガー有希子様をお招きし、ベルガーさんからは、
「バイエルン幼児教育政策」についてもご講演頂きました。

加えて、年1回開催しているGT 関東研修も今年は東京での
開催となり、その際の基調講演の内容も報告しています。

今回のレポートでは、今年度3回実施した保育環境セミナーで、
参加者の先生方から寄せられた質問集を掲載しています。
各質問への回答や基調講演の講演録につきましては、
下記のレポートをご参照くださいませ。

●2017 年度セミナーレポート報告

[第44回保育環境セミナー：本誌、第20～21号](#)

[GT サミット 2017](#)：本誌、第26号

[ドイツ×日本「保育研修」](#)：本誌、第28号

[第45回保育環境セミナー：本誌、第29～30号](#)

[第46回保育環境セミナー：本誌、第34～35号](#)

[GT 関東研修大会](#)：本誌、第38～39号

[リーダー研修 2017](#)：本誌、第42～43号

[職域別見守る保育セミナー：本誌、第47～48号](#)



「見守る保育」ロゴ

保育士の対応についての質問

1.日々、見守り保育を基本として、保育環境を設定したり、子どもと関わることを意識して保育を行っています。しかし、その中でどこまで見守りなのかと職員間で話し合い悩むことも多く、私自身が見守りと思っていなくても、第三者からの目で見ると放任と感じてしまうこともあるようです。感覚や価値観の違いは、人それぞれだとは思いますが、藤森先生は見守りと放任の大きな違いはどのような点だとお考えですか？参考までに、是非教えて頂けたらと思います。よろしくお願い致します。

(第44回)

2.子どもが泣いた時助けを求めてきたときに応えようと、大人に頼らないと何もできなくなったり、ちょっとしたことで泣いて助けを求めるようになってしまいました。「自分で選択する」「自分で考える」ということができるようにするためには、どのような対応の仕方がいいのでしょうか。特に乳児に対しては、泣いているとすぐに大人がかけつけるような状況ですが、これでいいのか…わからなくなってしまいました。

(第44回)

3.以上児クラス（3・4・5歳児やく60名）の朝の会や帰りの会に集中できない子が数名います。会の時間や環境（視覚情報等）の工夫をしていますが、もっと子どもが主体となる集まりの時間にしたいと思っています。集まりの時間、保育者が大切にしないといけない考えや、子どもが主体となるような関わり方や工夫のアイデアがあれば教えてください。(第44回)

4.見守る保育をするにあたって職員間でどこまでという区切りが、ポイントがその都度異なり悩んでしまいます。経験がある先生でも異なってしまいます。経験がある先生でも異なってしまいます。新卒や中途の先生に見守る保育の中身や実践を教えたいが、うまく教えることができないという悩みがあります。園の研修などの時間を使って、職員間の共通理解を深めたいのですがポイントなどがあればご教授頂きたいです。(第45回)

5.園で見守る保育を実践して6年目になります。前の一斉保育や担当性をしていたベテランの先生と壁があります。少しずつ変わっているところもあるが、保育の話になると平行線になり、子どもの姿から話しても同じ目線にならないことが多いです。理論を持って話すことも大切にしてはいますが、圧力



保育環境セミナー2017



セミナー会場の様子



G T活動報告



懇親会の様子



食事をしながら保育談議



Q & Aの様子

（マイナスを見る、出来なかったらどうするの？保護者の目線を気にする）がかかって、子どもの姿から見守る保育が進めにくいです。全体の風土をよくするためにはそうしていくといいでしょうか。（第45回）

6.衛生面（手洗いの仕方など）マナー（上履きを揃える、食事の仕方）などで大人の声掛けが多くなってしまう。生活援助の声掛けについて教えてもらいたいです。（第46回）

7.0～1歳を24カ月という発達の連続性を大切にするという視点で、ワンフロアで保育することについては共感します。まだまだその考え方が職員に浸透していない段階にあり悩んでいます。どこでチーム保育を踏まえ担任という意識ではなく、チームも0～1歳児クラスを担当する意識を持つための働きかけと担任を保護者に紹介する際の伝え方を教えて頂きたいです。

（第46回）

保育環境についての質問

1.保育室内で、遊・食・寝の独立が難しい場合はどうしたらいいでしょうか。ゾーンとコーナーはどう違うのでしょうか。（第44回）

2.小規模保育園（0歳児～2歳児12名）で見守る保育をするとしたら、どのようなことをポイントに行ったらよいのかをお聞きたいです。スペースがない中でのゾーン遊びの工夫を知りたいです。（第44回）

3.室内の広さが限られています。動の活動が好きな子が多いので室内でもそれを増やしたいがスペースの問題からどう取り入れるか悩んでいます。運動遊びや活動例を知りたいです。（第45回）

4.1歳児の担任です。1歳児の部屋は遊戯室を棚で仕切っているのですが遊食寝が全て同じ部屋になっていて、どう環境を変えていったらいいかも困っています。また棚にはアルバムなどが入っていて、収納も出来ない状況です。午睡時には、年中や年長も一緒に寝ているので玩具をとっておき、続きをまたするというのも難しいです。（第45回）



保育環境セミナーテキスト



第1回ドイツ環境視察ツアー



ベルギー有希子氏の特別講演

年齢別保育と異年齢児保育についての質問

1.乳児クラス（0，1）担当です。1歳児がパズルで集中して遊んでいるところに0歳児がやって来て、1歳児の遊んでいるパズルのピースを取り上げ口に…。1歳児は「やめてよ」と泣き出しますが、0歳児には伝わらず…。こんな時、1歳児の遊びも保障してあげたいし、0歳児の興味も大切にしたいです。どうしたらいいですか。最近の悩みです。（第44回）

2.幼児クラス（4歳児）の担任をしています。見守る保育を実践しており、異年齢児保育、選択制保育等を行っているところです。幼児担任4名でのチームで子どもたちを見ていますが、初めて持つ子どもたちに幼児担任同士、どのように子どもたちの力を把握していったらいいのかわからないところがあります。集団が大きいので個々の力を把握するのが難しいです。そのため、クラス活動を積極的に行っているところです。果たして、これでいいのかわからないことがあります。しかし、保護者としてはクラス担任に自分たちの子どもを把握してもらいたいという強い思いがあるようです。保護者からの圧力も感じています。（第44回）

3.現在1～2歳児を一つのフロアで保育しています。1歳児18名、2歳児24名でクラスを区切らず生活を中心に発達にあうように心がけています。しかし、他の園の実践を見ていると「居場所」としてのクラスの間があった方がいいような気がしています。指針の「情緒の安定」という面でも、少人数のグループという話もよく聞きます。どちらがということでもないかもしれませんが、環境づくりで何かいい方法はないでしょうか。（第45回）

行事についての質問

1.子どもに経験させたい「意図された保育内容」について、例えば運動会や発表会などの行事で実践していくには、どのような方法があるのでしょうか。（第44回）



GTサミット 2017

2.見守る保育として行事をすること（運動会、発表会、参観）などを行う場合、最終的に一斉保育・設定保育として行わないと難しい気がしますが、具体的に本番にむけてどのように進めていけばいいのでしょうか？例えば、まったく興味を示さず、やりたがらない子に対しては、それを見守る形でのよいのでしょうか。（第46回）

3.普段は異年齢保育をしています、運動会や発表会などはどのようにしていますか。どこまでを保育士が決めているのか、毎年どんな演目があるのかなど知りたいです。見守る保育を行っていく中で、行事や保育参観などをどのようにカリキュラム（の中）に組み込んでいくのか。運動会、発表会の具体的内容、練習時間、発表例など知りたいです。（第46回）

食育についての質問

1.本人が食べる量を選ぶことは、指針の原則に反していないか？（参観での保護者から質問で「セミバイキング」で、本人の申し出で給食の提供料を減らすのはどのような意図があつてのことか？指針では、「日々の栄養の1/3を摂取」とあることに逆行していないか）という質問がありました。（第44回）

2.野菜が嫌いなのに選んでしまい食べられない子がいます。（4歳）おやつを食べる時間が遅くなりがち。おやつに興味を持たせるには、どうしたらいいのでしょうか？（第44回）

3.0歳児の保護者数名からの質問です。「食べただけ食事を与えてもよいのか？家では大人と同じくらいの量を食べる。園ではおかわりはあまり要求しないが、家では泣いてほしがる」「食べすぎて胃が大きくなる？肥満になる？泣いてもあげない方がよい？」などに対して職員として、満腹中枢の未熟さもある。ある程度でストップは必要かも。量に対しての子の体格、運動量の話し、量を決めていくこと、意欲があることはよいetcなどの話はしますが、やはり心配…。安心させてあげられる藤森先生流の魔法の言葉を教えてください。（第46回）



GTサミット 2017_地域活動報告①



GTサミット 2017_地域活動報告②



リーダー研修 2017



第6回G T関東研修大会



第6回G T関東研修大会

保護者対応についての質問

1.園としては見守る保育進めていきたいと思います、保護者の意識の中に「見守る」を理解できている方が少ない現状です。「子どもを預けられればどこでも良い」と思っている保護者。しかも早期教育がより効果があると感じ、子どもたちの気持ちを親に伝えようとしてもなかなか真意が伝わりません。(職員の保育のチアら不足もあるとは思いますが) 保護者に「見守る保育」を理解してもらうには、どのような取り組みを「具体的に」行うと良いのか方向性を知りたいです。(第44回)

気になる子についての質問

1.各園、各クラスにはほとんど配慮児がいると思いますが、その子ども、保護者との対応・ケアはどのポイントが重要だと思いますか？(第46回)

2.発達に偏りがあるように思われる子どもがいて、その保護者にも似たような偏りがあるように感じる。その人は園での様子を伝えてもまともにきいてくれない。子どものことを一緒に考えていくことが難しい保護者への対応はどのようにすればいいのでしょうか。(第46回)

その他の質問

1.少子化が進む現代において、今自分たちが関わっている子ども達、未来を生きる子ども達が幸せに過ごすようになるには、どのような取り組みが必要だと思いますか？(第45回)

2.子どもたちは、小学校へ進学したら一斉の授業になると思いますが、その移行はスムーズなのでしょうか。 疑問に感じました。見守る保育を受けた子どもたちが卒園してからどのように成長したのか。(社会人になったら…etc) 乳児期に培った基礎がその後の人生を生き抜く力として活きているというように実感した経験はありますか。見守る保育で育った子ども、保育士の方々のその後の話などありましたら是非お願いします。 人は成長し続けると考えております。困難な場面で自分の人生を切り開いていった事例などをいくつか伺えましたらありがたいです。(第46回)



職域別見守る保育セミナー2017

●過去のバックナンバー

第47号

職域別見守る保育セミナー前編

第48号

職域別見守る保育セミナー後編

第49号

臥竜塾年間講座⑤

<http://www.caguya.co.jp/topics/news/p9889/>

2017年度のセミナーを終えて思うこと

2017年度も無事セミナーを開催することが出来ました。

セミナーの受付開始を心待ちにしている先生方のお話、園内での研修報告会からヒントを得て派生した新たな保育実践など、研修後から、新たな保育がはじまっているお話をお聞きすると嬉しくなります。

保育環境セミナーでは、実践発表の依頼のため申し込みを頂いた園から数園事務局から連絡をしています。

「うちの園なんか、そんな発表できることは…」と仰られることもあるのですが、それぞれの実践が他の園の先生方にとってのヒントになっていることも同時に感じています。

それも同じ保育理念のもと、保育実践をしているからということもあり、懇親会ではお互いの園の情報交換をされたりと、全国から一同に介するセミナーだからこそ醍醐味でもあるのだと感じます。

今年度は基調講演やQ & Aをレポート形式でお届けしていましたが、今後は何か別の形でお届けできればと考えています。

セミナー運営やセミナー報告はもちろんのこと、これまで以上に保育の学びがより深まるよう、現在、事務局では次年度開催に向け新たに動き始めています。

来年度のセミナーの開催日時などの詳細は決まりましたら、GTサイトからご案内致します。

今度の7月先生方にお会いできるのが今から楽しみです。

(報告者：株式会社カグヤ 奥山卓矢)



〒161-0023

東京都新宿区西新宿 3-2-11 新宿三井ビルディング 2号館 10階

Tel:03-5909-7155

毎週月曜日に配信しています。

ミマモルジュメールマガジン発行：株式会社カグヤ 奥山卓矢



メールマガジンのご登録は、
QRコードからお願いします。